

令和6年度もありがとうございました!

本年度も近畿教育オーディオロジー研究協議会に対して、ご理解とご協力いただきありがとうございました。今年度は、秋の講演会が久しぶりに対面型のみの実施でしたが、多くの方に参加していただきました。今後も多くの方々に参加していただけるように検討していく予定です。

1月25日に京都で「冬の学習会」を開催いたしました。多くの方に参加いただきありがとうございました。みなさんからお寄せいただいた感想を紹介し、講演会を振り返ります。

『聴覚障害児における韻律情報の活用 ～言語及び社会情動面から～』

福岡教育大学 教育学部 特別支援教育研究ユニット 講師 喜屋武 睦 先生

【参加者の声】

- ・認知能力と非認知能力のところで、非認知能力が育っていない子がいるというところ、大きくうなずきながら聞かせて頂きました。そのことを本人に気付かせる(わかるようにする)関わりがなかなかうまくいっていません。でも、社会に出た時のことを考えたら気付かせたいところです。
- ・無意識的に音声をとっているデータを聞いて、聴力にかかわらず意識的に音声(わかりやすく、ピッチや抑揚などに気をつけながら)をつけていこうと思いました。
- ・韻律情報の活用が統語の理解にも影響があること、大変参考になりました。音楽の聞き取りやすさを強みにされている 人工内耳メーカーもあります、やはり人工内耳のお子さんとの音楽活動は難しさを感じています。
- ・喜屋武先生のお話は、聴覚障害教育の現状、難聴学級で過ごしている児童のおかれていく課題について知ることができ、ろう学校が担っていくべき役割について改めて考える必要性を感じました。また、聴覚障害児の音韻情報や韻律情報のとらえ方の特徴も知ることができ、日頃の子どもたちとのかかわり方、伝え方、教材の工夫などに役立てたいと思いました。聴覚障害児の社会性の発達についても、非認知能力で他者の心理の理解など子どもたちに伝えたり、具体的に教えていくことも必要だと感じました。いろんな側面から子ども達の発達を理解することが大切だと今日の講演で教えていただきました。
- ・先生のお話を聞いて、子どもたちそれぞれの聞こえをしっかりと把握して関わっていくことの必要性を改めて感じました。また、幼児教育界で非認知能力をとりあげることが数年前から増えましたが 認知能力に密に関係しているとのことばにとっても納得しました。また、最後の感情理解の研究も目から鱗でした。今後、今日の講演のことを思い出しながら子どもたちと関わっていきたいと思います。
- ・聴覚障害についての考え方の基本的なお話から難聴の子どもたちの社会性について聞かせていただきました。感情認知という点を考えて、これからの指導を見直したいと思います。

『集う・つながる・創り出す ～舞鶴分校が目指す地域との連携・協働とは～』

京都府立聾学校 舞鶴分校 首席副校長 芦田 雅哉 先生

- ・地域支援の実践例をいろいろと教えていただき参考になりました。また、難聴の子どもたちや保護者の方のつぶやきをいろいろと聞かせていただき、日々の関わりが押し付けになっていないかなとふり返る良い機会になりました。また、保護者の方への説明など具体⇔抽象を考えて伝えることで一緒に進んでいける部分が増えるかと思いました。
- ・元気になりました。広い視点をもって支援に取り組みたいと思います。つながることで広がるということばを胸に楽しくがんばりたいと思います。
- ・聾学校愛が深く伝わるお話で、本当に胸がいっぱいになりました今の社会情勢にあわせて聾学校や私自身も工夫して変わっていかないと感じました。校内のハードルが色々と高く「ついで」が難しい現場になっていると感じています。芦田先生のようにフットワーク軽く愛をもってのりこえていきたいと思いました。本当にありがとうございました。
- ・芦田先生のお話は、ずっとろう学校で実践され、教育を進める上で大切にしている観点や、ろう教育の専門性とは何かについて、とても分かりやすく具体的に教えていただきました。グループ討議では他校の先生と話し合うことで自分自身がろう学校でどんな役割を果たすべきなのか考えることができたので良かったです。「子どもたちのつぶやきを拾う」教育実践の紹介や子どもたちの作文、保護者の連絡帳など読み上げていただき、子どもたちや保護者の気持ちもよく分かりました。自分自身ももっともっと子どもの気持ち、保護者にもしっかり寄り添い、つぶやきを拾っていきたいです。
- ・聾学校愛、専門性、具体と抽象の往還等、聾学校ならではの大切にすべきこと、改めて再認識することができました。芦田先生のアカペラで皆さんがひとつになった、そんな感じでした。近畿はひとつ、近畿の先生方のあたたかさを感じるそんな研修になりました。

【令和7年度の予定】

(令和7年) 5月 9日(金) 第1回代表委員会(大阪府立中央聴覚支援学校)

8月18日(月) 第2回代表委員会(大阪府立中央聴覚支援学校)

8月19日(火) 第26回夏の講習会(大阪府立中央聴覚支援学校)

8月20日(水) 第26回夏の講演会・講習会(大阪府立中央聴覚支援学校)

午前:全体講座講師 富澤 晃文先生(国際医療福祉大学)

テーマ 『未定』

午後:全体講演講師 村上 学先生(文部科学省特別支援教育調査官)

テーマ 『未定』

11月29日(土)秋の講演会

(令和8年) 2月6日(金)第3回代表委員会(滋賀)

2月7日(土)冬の学習会(滋賀)

近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局

〒670-0012

兵庫県姫路市本町 68 番地 46

兵庫県立姫路聴覚特別支援学校内

TEL:079-284-0331

FAX:079-222-5237

メール:kinkieaa@gmail.com